

第4回学校運営協議会

国分寺東小学校会議室にて

1 日時 令和6年2月16日(金)

2 参加者 学校運営協議会委員

- ・増渕 晴美 (東方台地コミュニティ推進協議会副会長)
- ・大垣 玉枝 (下野市国分寺地区主任民生児童委員)
- ・下山千恵子 (読み語りボランティア団体代表)
- ・諏訪美津枝 (下野市更生保護女性会会長、国分寺地区代表)
- ・山家 幸勝 (保護者、元PTA副会長) 欠席
- ・蓬田 裕康 (新規 地域の方)
- ・小林 勉 (新規 PTA会長)
- ・川島 啓 (新規 国分寺小学校教頭)
- ・人見佳代子 (本校校長)

地域学校協働推進委員 石崎 敦子

事務局 司会 坂本 順子 (本校教頭)

記録 近江 成美 (本校教務主任)

写真 篠崎 陽一 (本校地域連携教員) 欠席

3 内容

(1) 開会

(2) 学校運営協議会議事

- ①学校経営計画の振り返り (校長)
- ②学校評価結果報告 (教頭)
- ③学校評価について協議
- ④事務連絡 (来年度のテーマなど)

(3) 主な協議内容

発表者	発言・意見・質問など
教頭	<p>9:30～ 【開会】</p> <p>会長 あいさつ</p> <p>校長 あいさつ</p> <p>1 学校評価について 教頭より説明</p> <p>(1) 抜粋 経年変化の項目を活用して</p> <p>本年度は、教職員による評価が全体的に低くなっている。教職員の異動により、構成メンバーも変わるため、見方の傾向は異なるのではないかと。</p> <p>【設問1】</p> <p>授業については、児童・保護者の数字は同様だったが、教職員の評価は数値が下がった。教職員はもう少し学力が身に付くとよいと感じている。</p> <p>【設問3】</p> <p>家庭学習について、令和3年度からすると児童の評価は少しずつ上がってきている。学校や家庭での取組が児童に浸透してきていると思われる。</p> <p>【設問5】</p> <p>昨年度の学校評価の結果より、学校運営協議会で協議していただき、昼休みの図書室開放の際、「ほがらっこ」さんによる図書室見守りを実施した。職員への取組も促し、</p>

図書支援員による魅力ある図書室、図書ボランティア、ほがらか文庫やお話ポケット、図書委員、中学生などによる読み聞かせなどの諸活動により、児童、保護者のポイントが上がった。同じ目標に向かって全校で取り組むことができた結果である。

【設問 6】

きまりを守って生活しているかの項目については、本年度、物へのいたずらがあり、教職員の評価は厳しくなりました。

【設問 7】

早寝早起き朝ごはんについて、生活習慣は子どもにとってとても大切です。夜遅くまで起きていて朝起きられない児童もおり、心配です。保護者の中で、2や1の回答をつけた方が14%もおり、保護者にとっても難しい取組のひとつと考えられます。

【設問 10】

学校行事の項目です。毎年高い数字になっています。行事を通して子どもは成長します。コロナ禍が過ぎ、さまざまな行事を行い、児童が成長しているのがわかります。

【設問 11】

企画委員会児童が毎朝昇降口であいさつ運動をしています。中学生とのあいさつ運動も実施しました。このアンケートを実施したのが11月です。なかなかあいさつが向上しないことをふまえ「あいさつ改革運動を」実施しました。「あいさつアンバサダー」を任命し、放送での取材や見本となるあいさつをしてくれました。全学年による昇降口でのあいさつ運動も実施し、現在、あいさつの向上が見られます。

【設問 16】

先生が話を聞いてくれるという項目です。児童のポイントは上がりました。今年業間活動を実施し、全校で活動する時間が増え、教室で児童と自由に過ごせる時間が減りました。先生方としては、昨年度よりも話す時間が減ったと感じているようです。

【設問 21】

小中一貫教育については、小中での清掃活動を予定していましたがインフルエンザの流行により実施できませんでした。それでも児童や保護者のポイントが上がりました。

【設問 22】

教職員の数値は、毎年高くなっています。本校の特色が職員に伝わっているのがわかります。今まで運動会でお世話になっていた柴北おはやし会の方と、音楽の授業で演奏していただきました。地域連携だよりなどを通して保護者へさらに周知していきたいです。

(2) 保護者の意見

- ・学校や職員への感謝の言葉をたくさんいただいた。
- ・登下校の見守りのお願い。
- ・タブレットやLEBERの活用について、今の時代に即して良い。学校のホームページに保護者用のページを作成しアップするなどするのはどうか。
- ・中学生が小学校に来て活動することはあるが、6年生が中学校へ行き、授業を体験できる機会があれば中学校への不安も減るのではないかと思います。

(3) 児童の意見

- ・チューリップと一緒に植えてくれてた人に御礼をいいたい。
- ・係活動や当番の仕事が楽しいです。
- ・掃除用具が古い。

4 学校評価についての協議

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・【設問 5】 保護者が低い。子どもが学校で少しずつ本を読むことで、家庭でも意識付けができていくのではないかと。ゆっくりじわじわと続けていくとよい。 ・【設問 8】 清掃は、学校に来たときに子どもたちが本当によくやっていると思う。後ろ向きな回答の児童が 18%いることを理解する必要がある。 ・【設問 2 2】 ボランティアに入っている立場からすると、この結果はとても励みになる。顔見知りになることでよりよい関係が生まれる。保護者の方にも活動を知って欲しい。地域のつながりが薄くなる中で、子どもを真ん中にして親も動いていく。図書室もボランティアも細く長くやっていきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・【設問 8】 清掃をすみずみまで本当によくやっている。保護者にもみてもらうとよい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・【設問 1 7】 子どもの評価が高い。よくやってくださっている。今後も一人ひとり関わって欲しい ・【設問 1 9】 子どもと保護者が数値一致している。安心した。 ・【設問 8・9】 保護者は、家での手伝いなどをすぐにやってほしいと思っている。子どもはすぐにはやらない。そのことが数値の差に表れているのかもしれない。学校での仕事はきちんとやっている。家では忙しいことも考えられる。 ・【設問 1 1】 あいさつは、高学年になると恥ずかしさも出てくるのではないかと。 ・【設問 2 0】 学校が楽しいと回答している児童は問題がないが、楽しくないと回答している児童が 8%いることを忘れないでほしい。 ・【設問 8】 学校で清掃をきちんとやっている。学校はすごい。図書の貸し借りも手際よくやれている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・【設問 1】 人にもものを教える時、「教科書で教える」「教科書を教える」ベテランの先生達は教科書を教える人である。人の集中は 20 分程度。私が話をするときには自分の失敗談などを入れて集中させるようにしている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・【設問 1 0】 90%の以上の児童が学校行事に進んで取り組んでいるという結果は素晴らしい。感動を大切にしてほしい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・児童は掃除の手を止めて、あいさつをしてくれる。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方が、通学路の雪かきをしてくれていた。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・【設問 3、5、8】 家庭での課題は、どこの学校も共通している。行事への数字が高いのも素晴らしい。CやDの評価をした子を支援していく必要がある。
地域学校協働活動推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ほがらか文庫さんの見守り、温かい雰囲気をつくってくださっているように思う。本に出会う環境が大切。
教頭	事務連絡